

ギャラリー恵風 ニュースレター 2011.7

紫陽花の花が雨中に静かに佇んでいます。

今年も半年が過ぎましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

この度の大震災はどんなに世の中が豊かになっても、人は自然界に生かされていることを忘れてはならないと思い知らされました。原発事故の一日も早い収束をお祈りします。

さて、7月開催します展覧会のご案内を申し上げます。6月に続き3日まで1階では、パノラマ風に展示するリトグラフの岸雪絵展、2階は京都精華大学の陶芸と版画の小品展です。共に充実した作品展です。

1階、5日からは鈴木祥充展、今まで柔らかい色彩のドットで描いてきましたが、今回のモチーフの廃墟、どんな展開を見せてくれるでしょうか。19日からは昆虫を描く田原愛子展。無数の虫たちの集合、集積、それはまた人のつながり、人の軌跡かも……。恵風の若手作家連続企画として鈴木さんは、Vol.5、田原さんはVol.6と続きます。今までよりグッと年齢が若くなりましたが、今後の活動を期待したいです。

2階は5日から相見節子さんの油彩画展。いつも笑顔をたやさず大学で後進の指導に当たりながら久しぶりの京都での個展、不思議なおだやかな奥深い世界へ誘う抽象画です。

12日からは堂東由佳さん・桐月沙樹さん・宮田雪乃さんの完成度の高い版画三人展。若さあふれる楽しい作品で競い合います。次の19日からは舘正明さんの口ウ染展。一見地味に感じる作品ですが、じっくりよく観ると品の良さが伝わってきます。26日からは独立美術協会の会員、大学教授としてご活躍の廣田政生さんの抽象画。大胆な色彩と美しいマチエールの作品、最近、色が明るくなって、何か心境の変化でしょうか。

今月も若手、ベテランの作家たちと共に、元気に京都のアートシーンをお届けできればと思っております。

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

敬具 野村恵子

1F

7月5日(火)ー7月17日(日) ※7/11(月)休廊

若手作家連続企画 Vol.5

鈴木 祥充 展

今回、ある廃墟をモチーフに作品を一つ描いた。

以前は確かに建物として機能していたそれは、今では誰かが住むことも取り壊されることもなく、あらゆる生死を奪われた亡霊のようにひっそりと建っていた。そして無目的にその形だけをとどめながら、それ以上の意味を持たずただ存在しているように感じた。

何者でもないもの。そういったニュートラルな存在、現象に最近興味がある。(鈴木)

鈴木祥充 Suzuki Yoshimitsu

1988年 静岡県生まれ

現在 京都造形芸術大学院 修士課程芸術表現専攻2年 在籍

2F

7月5日(火)ー7月10日(日)

相見 節子 展

目的地を定めず絵具を置き重ねる。景色が見つければ近寄って確かめる。大分進んでいても引き返したりするし、戻らず進む時もある。

色と形が配された平面に、広がりを感じるができるのは人間だけだ。見るにせよ描くにせよ絵は一人一人の精神が形作ってみせる場面なのだろう。そしてその背後には人間の歴史が積み重なっている。絵というものの来し方と行き先を想像しながら歩く。見晴らしの良いところがまた見つかるかも知れない。(相見)

7月12日(火)ー7月17日(日)

版画小作品展 7月あたりの堂東さんと桐月さんと宮田さん

主に小さいサイズの版画を展示します。お互いの作品はよく知っていますが、一緒に展示するのは初めてです。

7月の初夏に、3人のさわやかな作品をお楽しみください。(一同)

□ 堂東由佳 Doutou Yuka

1983年 兵庫県生まれ

京都市立芸術大学美術研究科絵画専攻版画

受賞歴：2011 修了制作展 / 大学院市長賞

展覧会：2011 個展「呑気な時間、嫌な予感」(ギャラリー IND.・大阪)

2011 a.a.t.m アートアワードトーキョー丸の内 2011

(行幸地下ギャラリー・東京)

□ 桐月沙樹 Kirizuki Saki

1985年 兵庫県生まれ

グループ展

2010「ISE cultural foundation 日米学生展」(Ise Cultural Foundation NY gallery / ニューヨーク)

「oz」(ギャラリー i / 京都)

「春雷」(Art Project room ARTZONE/ 京都)

2009「A-CTION 2009」(ギャラリーオープン / 京都)

「Kyoto Current 展」(京都市美術館別館 / 京都)

「めばえ 学科優秀作品選抜展」(ギャラリーオープン / 京都)

「ミッツ - 観察による可能性 -」(art project room ARTZONE/ 京都)

個展

2011「鈴木祥充展」(2kw gallery / 大阪)

相見節子 Aimi Setsuko

1977 京都市立芸術大学西洋画専攻科修了

2002 オープニング展(ギャラリー恵風・京都)

2003 85人の視点/京都・洋画の現在展(京都文化博物館)

2004 絵画二人展(98・99 ギャラリーマロニエ・京都)

2006 絵画と陶による二人展(ギャラリー恵風・京都)

2007 はるひ絵画ビエンナーレ(奨励賞/はるひ美術館・愛知)

1976~2010 個展/京都、大阪、愛知、東京

現在 京都造形芸術大学勤務

2009 東京造形大学絵画科版画表現専攻修了

2011 京都市立芸術大学大学院美術研究科版画修了

主な展覧会：2010 七月あたりの堂東さんと桐月さん

(京都市立芸術大学小ギャラリー)

受賞歴：2010 第16回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞 / 入選
全国大学版画展 / 買い上げ保存賞

□ 宮田雪乃 Miyata Yukino

1986年 三重県生まれ

京都市立芸術大学美術研究科版画在籍

2011 ものうみ展(GALLERY SUZUKI・京都)

2010 宮田雪乃展(番画廊・大阪)

閨秀の孫娘展(思文閣会館・京都)

受賞歴：京都市立芸術大学作品展 / 奨励賞、全国大学版画展 / 収蔵賞、
京都市立芸術大学作品展 / 市長賞

1F

7月19日(火)ー7月31日(日) ※7/25(月) 休廊

若手作家連続企画 Vol.6

田原愛子 個展 - ミクロコスモス -

霧や煙が立ち込めたかのような景色を描いています。

その正体はおびただしい数の昆虫たちです。蜂や蟬、蛾や蜘蛛などの生命体が、絵画の中で密集し、うごめき合い、新たに創り上げたものとは、目がくらむような異空間でした。

飛び交い跳ね回る一匹一匹の色や形の残像は、薄くかすみ視界を遮るモヤになります。その空間を前に感じるのには、無数の昆虫に対する嫌悪や焦燥でしょうか、それとも包み込まれるようなやすらぎでしょうか。

皆様が今回の展覧会を通し感じたことを、お聞かせいただければと思います。
(田原)

田原愛子 Tahara Aiko

1988年北海道生まれ

京都造形芸術大学大学院在籍

主な展覧会・受賞歴

2008 個展 (gallery ANTIQUE bell / 京都)

2009 優秀作品選抜展 めばえ (ギャルリオーブ / 京都)

2010 京都造形芸術大学卒業制作展 学科賞 混沌賞受賞 (京都市美術館)

グループ展 春雷 (art project room ARTZONE / 京都)

企画展 DISCOVERY2010 (KYE gallery & 青樺画廊 / 東京)

NIPPON ART NEXT 2010 (東京外苑キャンパス)

個展 大家族展 (gallery ANTIQUE bell / 京都)

2F

7月19日(火)ー7月24日(日)

舘 正明 展 - between -

「between」と題した新しいシリーズを展示致します。

このシリーズは2種類の線で構成され、その線を重ねることで生じた差が像となって現れています。

それらが様々な本質を示唆するものであることを願っています。(舘)

舘 正明 Tate Masaaki

2007 染・清流展 (染・清流館・京都)

京都府美術工芸新鋭選抜展 (京都文化博物館)

Exchanging Traditions (京都芸術センター)

2008 加賀城健・舘正明展 (ギャラリー恵風・京都)

Cloth & Culture Now (イギリス)

2009 染・清流展 (染・清流館・京都)

個展 (ギャラリー猫亀屋・大阪)

2010 個展 (ギャラリー恵風・京都)

個展 (千疋屋ギャラリー・東京)

国際アートのトリエンナーレ (大阪芸術大学)

7月26日(火)ー7月31日(日)

廣田 政生 展

「想定外」・・・今や流行言葉のように耳に付いてしまったが、私の創作現場では、イメージを呼び起こすための大事な要因である。「偶然」あるいは「想定」の外にある出来事は、更なる形になるためのドキドキする瞬間の訪れである。・・・利権に絡んだ、人為で制御できない過ちを回避するための見苦しい言い訳のための「想定外」には、怒りを覚える・・・「生きるため」の人々の努力が報われ、「想定外」のドキドキした時代が訪れることを願っている。(廣田)

廣田政生 Hirota Masao

1955年滋賀県生まれ / 80年京都市立芸術大学美術専攻科修了 / 82年

実験工房 GOUT の活動に参加。以後9年間に渡り実験的表現としての

フィールドワークを試みる / 77年より独立展出品。98年独立賞受賞。

99年会員推薦 / その他 / 日本国際美術展、ARTNETWORK'83、

CONTACT 展、BAO 芸術祭、高柳の里彫刻造形展、'94 洋画 KYOTO 展、

第8回芸術祭典・京、「領域・・・線」選抜展、文化庁第33回現代美術

選抜展、2000 新鋭美術選抜展、LINK 展、日独現代美術交流展他の

グループ展に出品。07年恵風で個展開催 / 現在、独立美術協会会員、

大手前大学教授

今後のスケジュール

※ 8/1 ~ 8/29 夏期休廊させていただきます

◆1F ギャラリー

8/30 ~ 9/4 (1F 2F) 市瀬博之七回忌展

「ニットで散歩 たまにスケッチ ねぐせとめがね

ちよっとよだれ 残暑お見舞い申し上げます」

9/6 ~ 9/11 (1F 2F)

一色と光の染色ー 山口通恵を偲ぶ

9/13 ~ 9/25 日下部一司 × 田中朝子

9/27 ~ 10/9

若手作家連続企画 Vol.7 市川裕隆 展

◆2F ギャラリー

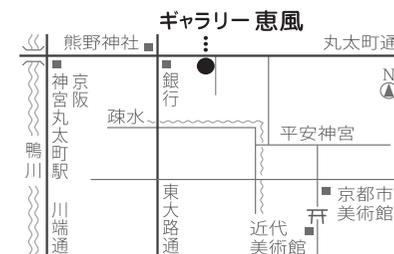
8/30 ~ 9/4 1Fと同じ

9/6 ~ 9/11 1Fと同じ

9/13 ~ 9/18 渡邊剛志 展

9/20 ~ 10/2 武田浪・藤波晃 展

アクセス



市バス 熊野神社前 下車すぐ・京阪神宮丸太町駅より

徒歩5分・京都市美術館より徒歩7分

OPEN: 12:00~19:00 (最終日 18:00 まで)

月曜休廊

発行: ギャラリー恵風

発行日: 2011.6.20



〒606-8392

京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側

TEL: 075-771-1011 FAX: 075-771-0358

E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp

URL: http://keifu.blog86.fc2.com